

伝えたい、守りたい、まちの宝物

【File No. **34** | 遠山塚 とおやまづか 上矢作町漆原 425 番地 33】



昭和50年には上矢作町指定文化財にも登録された

元龜3（1572）年12月、武田信玄が甲斐・信濃の兵約3千人をもって岩村城を攻略するため根羽方面から進攻した。これに対して、明知、苗木、飯羽、串原を主力として足助、名倉、武節など東美濃・東三河の連合軍約5千人が上村を中心に迎撃したが、武田の智将秋山虎繁の機略、甲信の戦力の前に東濃三河連合軍は敗れた。明知城の城主であった総大将遠山景行は向井戸砦にこもって苦戦したが、5、6騎残したのみだったので血路を開いて落ち、漆原峰最北端のこの地に自刃した。

この上村合戦の戦死者を弔い、遠山神社として小さな碑が建てられた。その後、明治44年4月に地元を中心に近隣町村有志の寄進によって現在の石碑となった。

ひとロメモ

3月中旬には、大平の福寿草が見頃となる。一説には、この上村合戦で武田軍の美濃侵略の時、心臓に持病のあった武田信玄の強心剤として持ち込まれたものが自生したと言われている。上村合戦ゆかりの地として併せて訪れてみてはいかがでしょうか。



美術館へようこそ！ 展覧会と連続講座のご案内

3月6日(日)は“市民の日”。市民に限り観覧無料です。受付で「恵那市民です」とお伝えください。

3月6日(日)、
4月3日(日)、
は市民の日

- 第12回広重賞恵那市子ども版画コンクール作品展—3月21日(月・振休)まで展示室2(2F)で開催
- 春季特別企画展予告—4月7日(木)～「古今東西美女競—描かれた女—」を開催！

■開館 15 周年 中山道広重美術館「浮世絵塾—浮世絵の歴史と鑑賞のいろは—」連続講座受講生募集！

平成28年、中山道広重美術館は開館15周年を迎えます。この記念の年に、あらためて浮世絵の魅力を多くの方に知っていただくための講座を用意しました。毎回著名な浮世絵研究者の先生に講演いただきます。興味をお持ちの方は気軽に美術館まで問い合わせください。

〈第1回〉初期浮世絵 平成28年 5月14日(土)

浅野秀剛氏 (大和文華館館長・あべのハルカス美術館館長)
近世初期風俗画から紅摺絵まで。菱川師宣、鳥居派などを中心に。



〈第4回〉後期 11月12日(土)

新藤茂氏 (東京工芸大学 大学院講師)
三代広重、大蓑芳年、小林清親、豊原国周などを中心に。



〈第2回〉前期 7月9日(土)

小林忠氏 (岡田美術館館長・学習院大学名誉教授)
鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽などを中心に。



〈第5回〉復活期 平成29年 1月14日(土)

岩切信一郎氏 (早稲田大学 非常勤講師)
山本鼎、橋口五葉、伊東深水、名取春仙などを中心に。



〈第3回〉中期 8月20日(土)

内藤正人氏 (慶応義塾大学教授)
葛飾北斎、歌川国芳、歌川広重などを中心に。



- 受付期間：3月8日(火)～定員になり次第締め切り
- 時間：各回午後1時30分～3時30分(予定)
- 受講料：4,000円(全5回) ● 定員 80名

● 問い合わせ、申し込みはこちらまで！

問 中山道広重美術館 TEL 0573-20-0522 <http://hiroshige-ena.jp>

次号は
3月15日号
発行日は
3月15日(火)です



広報えな No.261

2016年(平成28年)
3月1日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎26-2155/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

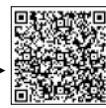
『広報えな』3月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約9.6円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情報
を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)
音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインクは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

